

# ◆大会前記事 (組合せ、展望)

## 秋の岡山県高校野球組み合わせ決定 中国大会4枠争う



【注】マはマスカット、倉は倉敷市営、エはエイコン

来春のセンバツにつながる。秋の岡山県高校野球大会（山陽新聞社後援）の組み合せ抽選会が20日、倉敷市内であり、出場20校の対戦カード別表が決まった。23日に開幕し、倉敷市のマスカットスタジアムなど県内3球場を舞台に地元開催となる中国大会（10月27日開幕）の出場4枠を争う。

地区予選を突破した東部9、西部8、北部3校の主将がくじを引いた。今夏の甲子園で8強入りした山陽は初戦の2回戦で光南と当り、23日に同スタジアムで行う開会式の選手宣誓は岡山東商の今井仁哉主将（2年）が務める。日程は当初、10月8日までの6日間を予定していたが、山陽が鹿児島国体に出場するため、7日までの5日間に短縮した。最終日の決勝は3位決定戦に山陽が残った場合は該当の試合を別日に行う。

入場料は一般700円、高校生100円、教師引率の応援団と中学生以下は無料。（稲垣心也）

# 山陽、倉敷商リード

## 序盤から激戦必至

5年ぶりに岡山開催となる中国大会の出場4枠を巡る争いは、今夏の岡山大会決勝で激突した山陽、倉敷商の2強がリードする。

この夏、全国8強と躍進した山陽は甲子園メンバー3人が残る。三宅、三浦の長身右腕コンビはともに最速140km超。リードオフマンの田内は遊撃に移った守備でも要だ。石井、村上の左右の好投手がいる光南との初戦を乗り越えれば、2年連続の秋制覇も見え

倉敷商も1年時から主戦格で投げてきた和田虎と140km左腕増田が健在。広野ら打者も経験豊富だ。ただ、叶岡本の1年生バッテリーが成長する初戦の岡山東商をはじめ、難敵との対戦が続きそう。気は抜けない。

中国大会に3年連続出場中の学芸館は古謝ら打力と走力を兼ね備えた好選手が多い。主戦沖田も状態を上げていく。5年連続で県大会を突破している創志学園はエース中野が地区予選3試合を1人で投げ抜き2失点。杉山打線が援護でき

関西—理大付の名門対決が初戦で実現した。関西は本格派右腕の山本が安定し、地区予選で唯一無失点。松田ら野手も力を付けてきた。理大付は帆北ら複数の好左腕がそろそろ。強打の捕手桜木ら野手も粒ぞろいだ。

左の好打者坂爪が攻撃を引っ張る倉敷工と、右横手の永富が試合をつくる玉島商は4強を狙える組み合わせ。長身右腕の国定を擁する城東もチャンスはある。

（稲垣心也）